

県会議員 奥村のり子の
しん 赤旗 読者ニュース

2013年6月16日 第88号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

電話&FAX 073-427-7121



不正受給を口実にした 生保制度の改悪はダメ

一般質問で質したい
県議会がはじまりました。総額約54億円近くの一般会計増額予算案など議案12件と報告15件が上程されました。補正予算案は風疹予防接種の助成事業や消防救急無線のデジタル化事業、市町村のトイレ改修の補助事業などとなっています。私の今回の一般質問は特に生活保護行政について質します。

政府は、「健康で文化的な最低限度の生活」の保障を定めた憲法25条の生存権を否定する生活保護制度の改悪をねらっています。不正受給を口実に・生活保護基準の引き下げ・扶養義務の強化・不正受給の罰則強化・「乱診・乱薬がある」として、医療費の窓口負担の導入、就労の促進強化等です。

「困った時は誰でも受けられる制度に」
すめる「生活保護ハッシング」はやめるべきです。一部の悪質な不正受給を口実に、扶養要など締め付けを強めれば餓死や孤立死につながりかねません。

困った時は誰でも受けられる制度に
県警の資料によると昨年の孤独死(定義が示されていないため、65歳以上、独居、自宅、病死で集計したもの)は233人もあります。生活に困ることがなかったのかどうか、大変気になるところです。

まず困った時は誰でも安心して受けられる制度として利用できるようにしなければなりません。県としても「年金や最低賃金よりも生活保護が高い」といって生活保護基準の引き下げを認めるのではなく、老齢加算の復活をはじめ健康で文化的な水準に引き上げるよう国に求めるべきです。生活保護基準の引き下げは、最低賃金基準や自治体の住民サービスにも大きく影響します。制度を後退させないためにもみなさんとともにがんばります。(のり子)

さあ参院選！暴走政権と対決 原やすひさ氏 事務所びらき



6月10日、参院選比例区と、選挙区原やすひさ氏の合同事務所びらきが本町4丁目で行なわれました。原やすひさ氏は、県下すみずみを駆け巡り、「アベノミクスはともならん」など県民のナマの声、悲鳴を紹介し、「経済にも暮らしにも責任を負えず展望を示せない自民党政治は、もう耐用年数も賞味期限もとくに過ぎていく」と訴え、共産党と原やすひさの勝利へ決意を述べました。

アベノミクス、消費増税、雇用破壊、原発、TPP、沖縄の基地問題、憲法の改悪、過去の侵略戦争を美化する政治姿勢など、暴走する安倍政権。二大政党制は破たんし維新など「第三極」もその「威信」が大きく崩れつつある中での参院選。他党は自民党政治の補完勢力です。暴走政権ときっぱり対決できるのは共産党です。どうかよろしくお願ひします。

(写真/事務所びらきで決意表明する原氏)

のり子の部屋

(主なもの)

- 6月14日 議会休会、市駅前宣伝、質問原稿づくり
- 15日 自治研総会
- 16日 河北後援会決起集会
- 17日 議会休会
- 18日 議会休会
- 20日 一般質問、無料生活相談日、女性後援会世話人会
- 21日 一般質問

6月議会で計上!

南海電鉄・加太駅には駐輪場がなく、駅に通ずる県道に写真のように放置されています。道路の左右に日常的に50台近い自転車、単車がおかれています。加太地区は漁業と観光の街です。

和歌山県も市も「観光立県」として観光事業に力を注ごうとしています。恥ずかしい限りです。「加太駅に駐輪場を」と、議会で取りあげたのは2009年6月議会です。また2012年6月議会でも取りあげ、南海電鉄敷地を利用した駐

南海電鉄・加太駅駐輪場設置の予算



輪場設置予算が、この6月議会です。加太地区連合自治会、駅周辺の単位自治会の皆さんの強い要望もあり、予算が採択されれば今年度中には駐輪場建設工事が施工され、設置されることとなります。

通行の妨げ、自転車の盗難等々少しは緩和できることと思えます。同時に観光地でもある加太地区の駅・玄関口が整備されることとなり、ホットとしていきます。

(写真は路上に置かれている自転車、単車)

リレートーク
党市議会議員
渡辺忠広